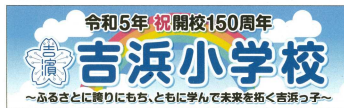


花咲く明日を

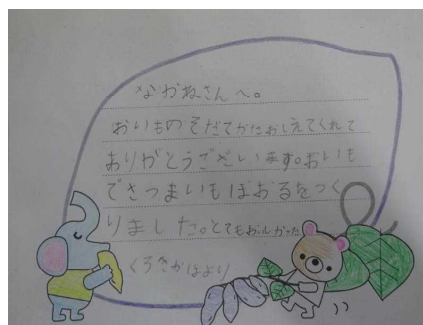
～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年10月19日 No.57

1 収穫したさつまいもを食べました

1年生の子どもたちが、野菜に詳しい高浜在住の中根さんに教えていただき、育ててきたさつまいも。たくさん収穫することができました。



この日は、このさつまいもを使って、「さつまいもボール」作りが行われていました。「さつまいもボール」は子どもたちが名付けたそうです。

この日の朝、正門に立っていると、「さつまいもを食べるよ」「エプロンを持って来た」など、話してくれた子がたくさんいました。楽しみにしていることがよく分かりました。

「さつまいもボール」は細かく切ったさつまいもと水を炊飯器に入れ、できあがったほかほかのさつまいも適量に好みで砂糖を加えながらビニール袋に入れて、押しつぶしながらボールのような形にしてできあがりです。おいしいものが簡単に、しかも自分の力でできたとあって、子どもたちはとても嬉しそうでした。「家でも家族につくってあげたい」と話している子が何人かいました。

食べ終わったあとは中根さんにお礼の手紙を書いていたようです。おいしいさつまいもを食べた後だけに、すてきな手紙が書けたようです。

2 インフルエンザ

市内の小・中学校において、インフルエンザが流行し、学年・学級閉鎖が相次いでいましたが、そのような中、本校は流行の兆しもありませんでした。ところが今週頭から2年生で罹患する子が現れ、火曜日からは1学級を閉鎖することになりました。今後、学校全体に広まっていく可能性も考えられます。感染対策を取りながら学校生活を送らせたいと思いますが、ご家庭でも以下のことに気をつけながら過ごしていただけたらと思います。参考として厚労省発行「インフルエンザ一問一答」を添付します。

☆感染経路を断つ：こまめなうがい、手洗い

☆環境を整える：適度な湿度の保持及び換気

☆免疫力を高める：十分な睡眠、適度な運動、栄養バランスのとれた食事など

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年10月20日 No.58

海の標語

渡し場かもめ会から、「海の標語」の募集がありました。吉浜の海がいつまでも美しい海であるためにはどうするべきか、そして、海岸に立ち、海を見つめ、現状の海の姿を観て、海の気持ちを考えてほしいという願いを込めての募集でした。これに対し、たくさんの応募があり、本校からは、以下のとおり入賞作品が決定されましたのでお知らせします。おめでとうございます。

	学年学級	氏名	入賞標語
市長賞	5の2	佐藤 愛花さん	ゴミ拾い みんなの心が 水面に映る
校長賞	4の1	矢野 奏さん	大切に きれいな海を 未来へと
奨励賞	1の4	矢野凜太郎さん	まあいっか いいわけないよ 捨てないで
奨励賞	2の2	橋本 そらさん	はじめよう 未来につなぐ ゴミ拾い
奨励賞	3の4	小池 藍莉さん	とりもどそう 青くきれいな 吉浜の海
奨励賞	5の1	廣瀬 詩織さん	ゴミ減らし 守っていこう 命の海を
奨励賞	5の4	徳田奈乃羽さん	海に捨てたゴミ 汚れたのは あなたの心
奨励賞	6の4	林 尚広さん	嬉しいな 海のポイ捨て なくなった

10月22日(日)には、右のチラシのように、「芳川渡し場まつり&オニマルシェ」が開催され、その中で海の標語の表彰式も行われます。楽しいイベントがあり、また、ダンスなど、イベントコーナーに出演する子どもたちもいると聞いています。お時間の都合がつく方はぜひお出かけください。

なお、6年生はこの日から修学旅行となります。こちらには参加できませんが、奈良・京都で学びを深めてきたいと思っています。

「渡し場」とは

ここで言う「渡し場」とは、「藤江の渡し」のことです。かつて対岸の知多郡東浦町藤江との間、約500mを小舟で結んでいました。昭和31年、衣浦大橋が完成するまで「渡し場」がありました。

渡しに使われた渡し舟は30人ほどが乗れるもので、明治時代は、東京・京都方面へ出るのに、渡し舟で知多半島へ渡り、そこから武豊線を利用していました。

「藤江の渡し」は江戸時代から三河と知多をつなぐ交通手段で、旅人や行商人のほか花嫁らも利用していました。「渡し場まつり」で嫁入り舟が出航するのはこんな理由があるからですね。

第31回 芳川渡し場まつり & オニマルシェ



こどもマルシェ

10月22日 11:00～15:00

高浜芳川緑地多目的広場
駐車場：多目的広場 NT ツール社員 P 瀬川化学工業社員 P

イベントコーナー

11:00 ホームランダービー
11:00 ヒップホップダンス
12:00 チアガールダンス
12:30 空手演舞
13:00 開会式・海の標語表彰式
13:30 和太鼓演奏

無料コーナー

こどもゲーム
ふうせんアート
餅俵村壁掛付
練菓子配布



出発 14:00 花嫁行列

出航 14:25 嫁入り舟



主催：渡し場かもめ会 (<https://kamomeka3.wixsite.com/my-site>)

共催：芳川町内会 高浜駅立花 芳川いぢいクラブ

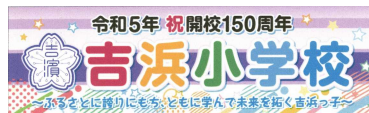
後援：高浜市観光協会

賛助会員

NT ツール NT 精機 NT エンジンアソシエイト トヨタ車体精工 テンソープレススタック 橋本コンクリート工業 藤野町 秋工業店 豊知 マルモ機子製作所 エムテック 春日運送 スズキゴム スズキ精機 瀬川化学工業 NTP マリーナ高浜 カゴメ クルーズ

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年10月20日 No.59

シン・鬼みちまつり

6年生が市内の鬼師さんの協力を得て制作したランプシェード。21日(土)の「シン・鬼みちまつり」で展示されます。



6年生の子どもたちは焼成後の自分の作品を見ていません。焼き上がった作品は粘土の状態に比べ、また違った表情をみせてくれることでしょう。お時間に都合がつくようでしたらお出かけください。

なお、6年生の子どもたちについてはこの翌日から修学旅行です。集合時間も早くなっています。インフルエンザも流行りつつあります。しっかり身体を休め、万全の状態に参加するために無理のないようにお願いします。

瓦文化をアピールする「シン・鬼みちまつり」が21日午後1～7時、高浜市青木町の市かわら美術館・図書館で開かれる。今年で21回目となる恒例行事だが、これまで運営主体だった市観光協会が昨年で撤退。地元の鬼瓦職人(鬼師)らが引き継ぎ、手作りのイベントとして繰り広げる。

「シン」には新生、親しみなどの意味を込めた。まつりの主役は、市内の5小学校の6年生が手がけた高さ25センチ、横20センチほどのランプシェード。いぶし瓦の粘土の板2枚を組み合わせるかまぼこ状のベースを作り、目や口をくりぬいたり、角を付けたりと趣向を凝らした530点が並ぶ。1校分は同館周辺の森前公園、残り4校分は館内で展示。いずれも当日午後5時から、発光ダイオード(LED)で内側から照らし出す。

15のキッチンカーやブースで飲食を楽しめるほか、和太鼓や吹奏楽の演奏がある。午後4時から、ふんどしダンサー五十嵐ゆうやさんのパフォーマンス、同5時からは先着300人が参加できるビンゴゲームでまつりを盛り上げる。

一方で、市内の観光散策路「鬼みち」のうち、名鉄高浜港駅から同館までの1キロ沿いで展示していた、保育園児らによるペットボトル明かりは、運営主体の変更に伴い中止に。児童たちのランプシェードは5年生分を取りやめ、賞の審査もなくなった。

まつりは、鬼師や瓦の魅力発信を目的に2002年に始まった。市観光協会が主催してきたが、コロナ禍による中止を挟み、20回目となった昨年を最後に撤退。まつりと深く関わった関係者の死去などが理由という。継続が危ぶまれる中、運営に手を挙げたのが鬼師たちだった。有志ら20人が今年1月、まつりの主催団体となる「三州瓦鬼師応援隊」を結成し、準備を進めてきた。

代表の山本英輔さん(48)は「一からのスタートで人員集めが大変だった」と振り返る。半面、ランプシェード制作の支援で学校を訪れた際には、児童に鬼師や瓦の歴史を説明する時間を初めて設けることができ「学校と直接話し合う中で子どもとの距離も狭めることができた」と喜ぶ。

活動の費用は市の交付金や企業の協賛金などで賄うが、本業と兼務となり負担も大きい。山本さんは「来年以降も続けたい気持ちはあるが、企業や市民の協力が必要。今年の盛り上がりで継続を検討することになりそうだ」と表情を引き締めた。

令和5年10月19日(木) 中日新聞Web版より

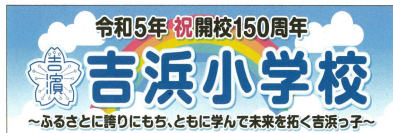
花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年10月31日 No.60

思い出に残る修学旅行になりました







10月22日(日)から一泊二日で修学旅行に行ってきました。これまでは新型コロナウイルス対応によるバスの増車など、何らかの制限がある修学旅行でした。今年度は久しぶりに制限のない修学旅行となりました。

毎年、それぞれの目的地について調べを進め、まとめた上で、修学旅行を迎えています。しかし、事前に調べたものに比べ、実際に見るものはやはり印象も異なり、子どもたちにとって大きな感動となったようです。例えば、東大寺の大仏は写真で見れば目線は同じですが、実際には下から見上げるようになります。こういったことの実感がより深い感動につながっていったようです。また、子どもたちの素敵な行動も見られました。お世話になった旅館や昼食会場の方などにさりげなくお礼を言ったり、会釈をしたりして後にする様子が見られました。また、昼食会場で机にしまわれていない椅子を、当たり前のごとく入れ、会場を後にする姿もみられました。心が温くなりました。

この修学旅行のために準備や子どもたちの気持ちを盛り立てていただきましたご家族の皆様にご感謝申し上げます。また、途中、インフルエンザ等のため迎えをお願いすることがありました。急なことに加え、遠いところまで本当にありがとうございました。自分は大事にされている、改めて感じているようでした。

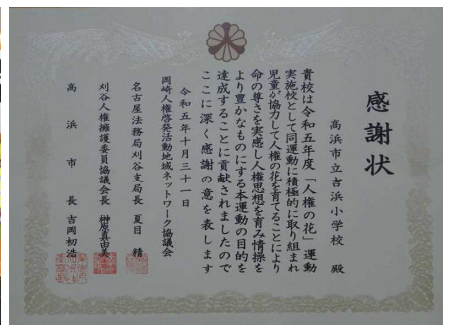
花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和5年10月31日 No.61

高浜市人権の花運動&菊人形制作





4年生がまちづくり協議会のみなさんに教えていただき、育ててきた菊。この菊を使って吉浜地区に伝わる菊人形を学級一体ずつ制作しました。今回もまちづく協議会のみなさんにご指導いただきました。この活動(学習)は、「高浜市人権の花運動」を兼ねており、菊を大切に育てながら思いやりの心も育むことをねらっています。本日は、名古屋法務局刈谷支局長の夏目様にも来ていただき、人権の花運動の終わりの会もあわせて行いました。

今回制作した菊人形は、「となりのトトロ」の登場人物になります。人形に飾り付ける菊玉をスピーディーに作り、人形のところに駆け寄り、教えていただきながらつけていく意欲的な姿が印象的でした。今週4日土曜日からの「人形小路菊まつり」で展示されます。ぜひお出かけください。

*「人形小路菊まつり」パンフレットを添付します。